



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL http://company.hiraki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,651	△12.6	256	7.2	193	△37.7	119	△38.6
26年3月期第1四半期	5,322	△10.1	238	△30.5	310	17.8	194	11.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 60百万円(△70.9%) 26年3月期第1四半期 209百万円(81.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	24.48	—
26年3月期第1四半期	39.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,711	4,624	24.7
26年3月期	17,619	4,612	26.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,624百万円 26年3月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	0.8	250	5.5	200	△24.4	110	△31.6	22	39
通期	20,000	0.0	700	△9.7	600	△24.4	330	△15.7	67	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	5,155,600株	26年3月期	5,155,600株
27年3月期1Q	274,630株	26年3月期	274,630株
27年3月期1Q	4,880,970株	26年3月期1Q	4,881,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。個人消費については消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から弱い動きとなりました。

靴業界におきましても、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、新しい集客媒体としての新聞広告の実施、無料設置カタログの増設など、ヒラキの認知度向上に取り組み、新規顧客獲得に努めました。また、前期より継続的に新商品の大量投入を実施してまいりました。2014年度春夏商品におきましては約850アイテムの新商品を順次投入し、「驚き・楽しさ・満足感」を実感して頂ける商品をアピールしてまいりました。

具体的には、クッション性に優れたインソール素材と屈曲性がよく滑りにくいソールを採用し、スニーカーのような履き心地を実現した『734円 らくちん&かわいいフラットシューズ』が2月販売開始から8万足を超える販売となるほか、バックバンドで脱ぎ履きがスムーズ、スウェット素材にシンプルなデザインが好評の『734円 バックバンドサンダル』が、こちらも5月販売開始から6万足を超える販売となりました。さらに、軽量素材の採用による軽さの追求と足元を彩るビビッドカラーのアップパー部分が特徴の『734円 軽ラクスニーカー』が6月の販売開始より4万足を超える販売となるなど、いずれも価格を抑えながらもそれ以上の満足感をお届けする商品を投入してまいりました。

ディスカウント事業におきましては、岩岡店では「日本最大級の靴売場」、各支店では「圧倒的な地域一番の靴売場」を目指し、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての差別化に取り組んでまいりました。圧倒的な安さを実現した自社開発商品の展開をさらに強化することにより収益力を強化するとともに、岩岡店の大規模修繕を実施(2014年7月完了)し、集客力の向上に取り組んでまいりました。

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』、およびOEMによる大口先卸販売を収益の柱として引き続き取り組んでまいりました。

このような取り組みにもかかわらず、主に、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が影響し、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は46億5千1百万円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における自社開発商品の拡販、および仕入先政策の強化による粗利益率の改善により、当第1四半期連結累計期間における営業利益は2億5千6百万円(前年同四半期比7.2%増)と増益の結果となりました。経常利益は、為替差損益、デリバティブ評価損益などの影響から1億9千3百万円(前年同四半期比37.7%減)、四半期純利益は1億1千9百万円(前年同四半期比38.6%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの当第1四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、新商品の大量投入の施策などにより、新商品の売上は伸びましたが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響から定番商品の売上が伸び悩み、売上高は24億6千7百万円(前年同四半期比12.2%減)となりました。利益面では、広告宣伝活動における効果的な媒体への絞り込み、さらに物流業務の効率化に引き続き取り組み、セグメント利益(営業利益)は3億3千4百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、自社開発商品のより一層の充実により、一部の商品において売上の落ち込みを最小限にとどめることができましたが、消費税増税の影響が大きく売上高は20億8千9百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。しかしながら、利益面では、仕入先政策の強化、自社開発商品の拡販などによる粗利益率の改善により、売上総利益の落ち込みを小幅に抑え、さらに作業効率化による人件費削減などの要因から、セグメント利益(営業利益)は2千3百万円(前年同四半期比33.8%増)となり、収益力は大幅に改善いたしました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の売上高が増加する一方、大口OEM販売については、新規取引先数を伸ばすものの既存取引先の取引が伸び悩み、売上高は9千4百万円（前年同四半期比15.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、配送の効率化など経費削減に取り組んだ結果、5百万円（前年同四半期比43.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、11億5千4百万円増加し、115億7千8百万円となりました。これは、現金及び預金が16億2千9百万円増加し、受取手形及び売掛金が3億2千6百万円、商品が2億2百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、6千1百万円減少し、71億3千3百万円となりました。これは、建物及び構築物が5千3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、10億9千2百万円増加し、187億1千1百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、1億2千万円減少し、47億4千7百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億6千8百万円増加し、買掛金が2億3千1百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ12億円増加し、93億3千9百万円となりました。これは、長期借入金が11億8千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、10億8千万円増加し、140億8千7百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1千2百万円増加し、46億2千4百万円となりました。これは、利益剰余金が7千万円増加し、繰延ヘッジ損益が5千7百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント減少し24.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ4億2千9百万円増加し、32億7千8百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億4千5百万円（前年同四半期は8億4千1百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億9千3百万円の計上、売上債権の減少3億2千6百万円、たな卸資産の減少1億5千8百万円、仕入債務の減少2億3千万円、法人税等の支払額2億5千4百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、12億9百万円（前年同四半期は8億1千7百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出22億円、定期預金の払戻による収入10億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、12億9千4百万円（前年同四半期は19億6千万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出6億4千9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成26年5月9日の決算短信にて発表しました平成27年3月期の業績予想を見直した結果、当該四半期において平成27年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,349,962	5,979,609
受取手形及び売掛金	1,353,240	1,026,389
商品	4,265,567	4,062,930
未着商品	71,173	115,838
貯蔵品	18,049	17,985
繰延税金資産	129,888	170,254
その他	260,341	221,971
貸倒引当金	△24,243	△16,562
流動資産合計	10,423,979	11,578,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,505,759	3,452,678
土地	3,258,299	3,258,299
その他(純額)	176,562	171,522
有形固定資産合計	6,940,621	6,882,499
無形固定資産	95,970	88,943
投資その他の資産	158,772	162,007
固定資産合計	7,195,364	7,133,450
資産合計	17,619,344	18,711,866
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,071,053	839,654
1年内返済予定の長期借入金	2,460,644	2,628,895
未払法人税等	265,474	90,414
賞与引当金	154,699	87,693
役員賞与引当金	-	1,425
ポイント引当金	35,130	34,701
その他	881,313	1,065,026
流動負債合計	4,868,314	4,747,809
固定負債		
長期借入金	7,778,368	8,960,293
退職給付に係る負債	105,790	109,585
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	30,376	30,514
その他	210,614	225,615
固定負債合計	8,138,718	9,339,576
負債合計	13,007,033	14,087,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,052,106	3,122,777
自己株式	△143,570	△143,570
株主資本合計	4,507,978	4,578,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,238	6,750
繰延ヘッジ損益	80,911	23,414
為替換算調整勘定	18,183	15,665
その他の包括利益累計額合計	104,332	45,830
純資産合計	4,612,311	4,624,480
負債純資産合計	17,619,344	18,711,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,322,645	4,651,021
売上原価	3,097,559	2,583,593
売上総利益	2,225,086	2,067,427
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	639,666	565,836
貸倒引当金繰入額	927	△2,764
ポイント引当金繰入額	12,209	10,616
給料手当及び賞与	516,003	478,162
賞与引当金繰入額	90,000	87,693
その他	727,423	671,855
販売費及び一般管理費合計	1,986,230	1,811,400
営業利益	238,855	256,027
営業外収益		
受取利息	696	1,446
受取配当金	377	482
物品売却益	1,568	1,924
為替差益	35,414	-
デリバティブ評価益	58,647	-
その他	7,333	4,215
営業外収益合計	104,037	8,068
営業外費用		
支払利息	29,916	28,816
為替差損	-	17,796
デリバティブ評価損	-	20,994
その他	2,958	3,322
営業外費用合計	32,875	70,929
経常利益	310,017	193,165
税金等調整前四半期純利益	310,017	193,165
法人税、住民税及び事業税	144,990	85,137
法人税等調整額	△29,518	△11,452
法人税等合計	115,471	73,684
少数株主損益調整前四半期純利益	194,546	119,480
四半期純利益	194,546	119,480

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194,546	119,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	1,512
繰延ヘッジ損益	10,024	△57,496
為替換算調整勘定	5,062	△2,517
その他の包括利益合計	14,994	△58,501
四半期包括利益	209,540	60,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,540	60,978
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	310,017	193,165
減価償却費	79,521	76,054
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,489	△7,681
賞与引当金の増減額(△は減少)	△68,818	△67,006
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,800	1,425
ポイント引当金の増減額(△は減少)	312	△429
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,869	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	3,794
受取利息及び受取配当金	△1,073	△1,928
支払利息	29,916	28,816
為替差損益(△は益)	△26,178	-
売上債権の増減額(△は増加)	32,881	326,105
たな卸資産の増減額(△は増加)	516,635	158,037
仕入債務の増減額(△は減少)	△91,099	△230,092
その他	253,900	148,927
小計	1,038,196	629,187
利息及び配当金の受取額	956	1,953
利息の支払額	△31,491	△30,597
法人税等の支払額	△166,457	△254,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	841,203	345,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800,300	△2,200,300
定期預金の払戻による収入	-	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△17,900	△8,741
有形固定資産の売却による収入	600	-
投資有価証券の取得による支出	△538	△537
その他	337	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△817,800	△1,209,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,600,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△587,321	△649,824
配当金の支払額	△43,084	△44,055
その他	△9,005	△11,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,960,588	1,294,711
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,632	△1,375
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,013,624	429,347
現金及び現金同等物の期首残高	2,339,705	2,849,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,353,330	3,278,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,810,224	2,401,202	111,218	5,322,645	—	5,322,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,810,224	2,401,202	111,218	5,322,645	—	5,322,645
セグメント利益	328,662	17,829	3,507	349,999	△111,144	238,855

(注) 1 セグメント利益の調整額△111,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,467,323	2,089,122	94,574	4,651,021	—	4,651,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,467,323	2,089,122	94,574	4,651,021	—	4,651,021
セグメント利益	334,151	23,864	5,026	363,041	△107,014	256,027

(注) 1 セグメント利益の調整額△107,014千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。